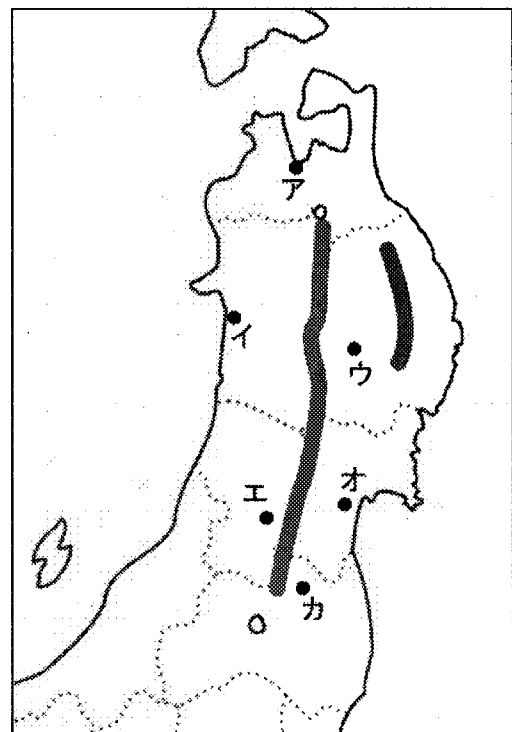


1. 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

雨にも負けず 風にも負けず
 雪にも 夏の暑さにも負けぬ
 丈夫な体を持ち
 … (中略) …
 日照りの時は 涙を流し
 寒さの夏は おろおろ歩き
 … (後略)

(注：原文はカタカナです)

この詩は宮沢賢治の「雨にも負けず」の一部分です。賢治は岩手県花巻市の人で、花巻市は(1)高地と(2)山脈のあいだに細長く広がる盆地にあります。そこには(1)川が流れ、稲作地帯が広がっています。



賢治は農民の暮らしに大きな思いを寄せた人で、それが「日照りの時は 涙を流し ①寒さの夏は おろおろ歩き」というところによく表れています。自然の威力を前にして、何とかしたいという思いと、どうすることもできない悔しさを感じます。

稲はもともと暖かい地方の植物です。そこで、穂が出て開花するころの気温が20度を越えることが大切だといわれますが、②オホーツク海高気圧から吹いてくる冷たく湿った北東の風が「寒さの夏」をもたらすと、賢治は「おろおろ」歩かざるを得なくなるのです。ところが、③この冷たく湿った風も、秋田県や山形県の盆地や平野では「寒さの夏」をもたらすこともなく、気温は上がって安定した米の収穫をもたらしています。もし賢治が山形県に生まれていたら、上の詩はもっと違うものになっていたかもしれませんね。

問1 (1)・(2)にあてはまる言葉を答えなさい。

問2 上の地図を見て、以下の問いに答えなさい。

- (1) 花巻市を地図中ア～カの中から選び、記号で答えなさい。
- (2) 地図中アの都市について、昨年12月に話題になったことは何か答えなさい。

問3 下線①について、なぜ賢治がそうするのか、その理由もしくは原因を答えなさい。

問4 下線②について、以下の問いに答えなさい。

- (1) この風は何とよばれているか答えなさい。
- (2) この冷たく湿った風には海流も関係していますが、その海流の名前を答えなさい。

問5 下線③について、それはなぜか35字以内で答えなさい。

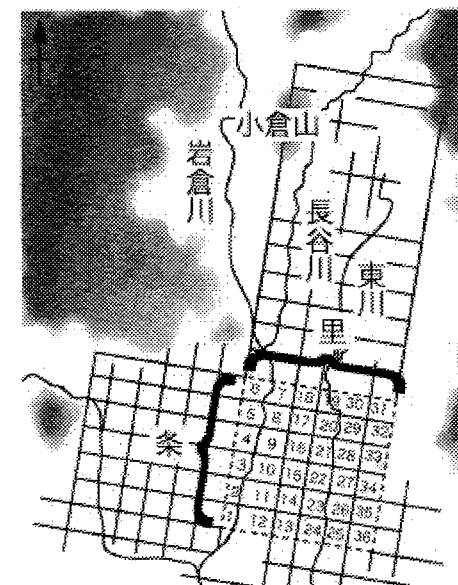
問6 賢治を「おろおろ」させた「寒さの夏」も、最近では深刻な被害を与えることが少なくなっています。その最も大きな理由を次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 地球温暖化の影響で、風の吹く方向が変わったため。
- イ. 農業技術の進歩や品種改良で、稲が寒さに強くなったため。
- ウ. 風力発電を利用して、温室栽培が盛んに行われるようになったため。
- エ. 天気予報が良く当たるようになり、あらかじめ対策がとられるようになったため。

2. 次の文章は、わが国の歴史が大きく変わる時代を説明したものです。これを読み、以下の問いに答えなさい。

遣唐使の派遣されていた時代は7世紀から9世紀にわたり、その数は十数回におよびました。わが国はこの遣唐使から唐の律令政治のしくみを取り入れていきましたが、これによって都や農村のあり方が大きく変わっていきました。その出発点となったのは、大化の改新とよばれる政治改革です。

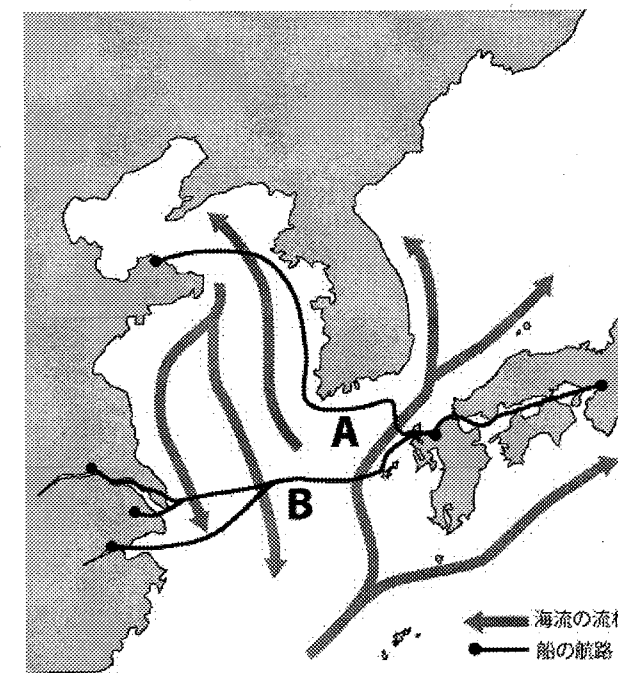
地図1は平安京の北にある岩倉地区の班田収授制をすすめるための計画図で、碁盤の目のようにまっすぐに分けられています。南北に一条、二条……、東西に一里、二里……、と区画し、その一区画をさらに36の区画に分け、その一つを坪とよびます。そうして、農民一人一人に①何条・何里・何坪の土地を(1)として与えていきました。



地図1

やがて、律令政治のしくみが整ってくると、朝廷は唐の長安にならい都づくりをはじめていきました。都の中も農村と同じように碁盤の目のように規則正しく分けし、貴族たちにその一面を与えています。この貴族たちの一部は、大化の改新の前には中央で大きな力を持ち、農民たちを支配していた(2)とよばれる人たちです。

ところで、遣唐使の乗り込んだ船は現在の7月から9月に中国に向け出発していましたが、地図2のように②時代の変化とともに派遣されるルートも変わりました。唐の政治や社会が不安定になってくると、朝廷の財政が厳しくなったこともあり、(3)の提案で遣唐使の派遣は中止されました。



地図2

13世紀から15世紀は、武士の政治や経済・社会のありかたが大きく変わっていく時代でした。13世紀、モンゴル高原にチンギス=ハンがあらわれ、馬を十分に活用し、中央アジアをまたたく間に征服していきました。やがて孫の一人フビライ=ハンは都をモンゴル高原から現在の北京にうつし、国号も元とかえ、朝鮮をしたがえ、日本に国交をもとめる使者を送ってきました。③執権北条時宗が要求をこぼむと、元は二度にわたり日本に大軍を送りこんできましたが、日本はこれを退けることに成功しました。また元寇は日本だけでなく広く東南アジアの国々へも押し寄せていきました。

鎌倉幕府は元寇をくい止めましたが、御家人に十分なほうびを与えることができず、領地を失う御家人も多く出ました。幕府は(4)を出して御家人にただで領地を取り戻させようとしたが、これは混乱をまねき、幕府の力は衰えていきました。14世紀の混乱の時代、九州や四国の武士や漁師・農民たちは海賊となり、中国や朝鮮に大きな被害を与えました。この海賊を中国や朝鮮では(5)とよびました。④彼ら海賊の活動は政治的混乱期にあらわれており、最初は南北朝時代、次は戦国時代です。やがて、安定した時代に入ると彼らの姿は消えていきました。

13世紀、元寇や戦乱・飢饉が続くと、人々の心の不安は深まりました。そこで、わかりやすい教えと修業によって救われるという新しい仏教が生まれましたが、古い仏教勢力や朝廷・幕府の弾圧にあうことになりました。しかし、彼らの教えは武士や農民・商人の心に届いていきました。親鸞は「南無阿弥陀仏」と唱えれば往生できると説きましたが、朝廷の怒りを受けて現在の新潟県に流され、その後関東で布教し、1262年に亡くなっています。また、日蓮はあのお世での救いよりも、この世に法華経の世界を実現すべきだと説き、鎌倉で布教を始めましたが幕府の怒りを受けて、のちに伊豆や佐渡に流されました。最後には現在の山梨県に入り、弟子の教育に専念し1282年に亡くなっています。一遍は踊り念仏を始め、衣食住すべてを捨てよと説き、放浪しながら全国各地の人々に布教しました。1289年に一遍は亡くなっていますが、生前その教えに共鳴した人たちは250万人にも及んだといわれます。

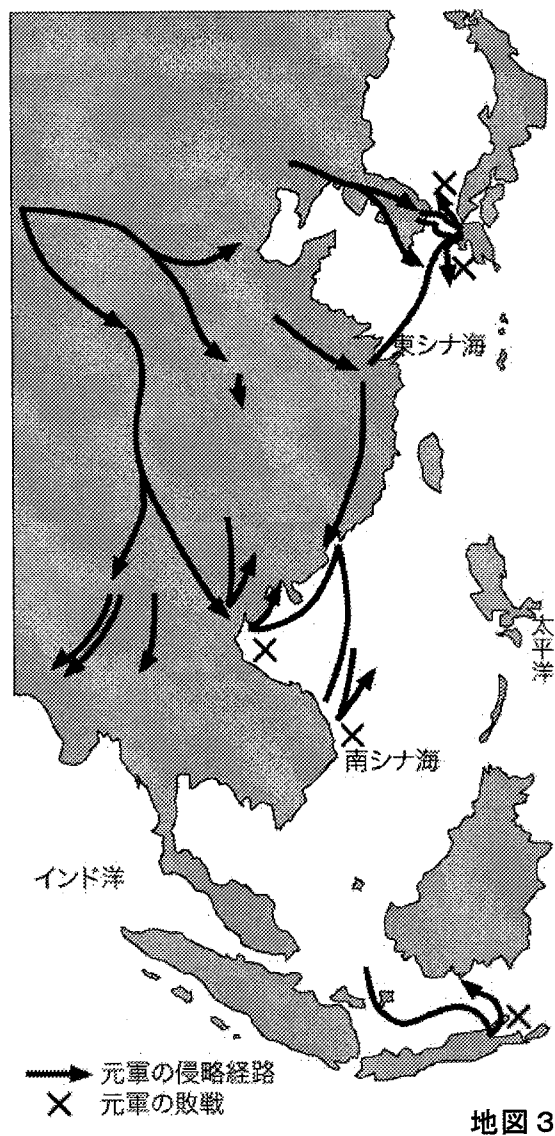
※布教：教えを広めること

問1 (1)～(5)にあてはまる言葉を答えなさい。

問2 下線①について、国が土地を碁盤の目のように区画し、班田収授制をおしすすめていきました。それについて、次の中から誤っているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 農民に与えた土地はその農民が亡くなくても、国に返す必要はなかった。
- イ. 農民に与えた土地がどこかはっきり分かるようにするために区分けした。
- ウ. 土地は6歳以上の男女ともに与えられた。
- エ. 農民に与える土地が農民の住んでいる場所から遠く離れてしまう場合もあった。

問3 地図2に示されたA・Bの2つのルートのうちAの方がより安全と考えられますが、その理由を考え、かんたんに答えなさい。



地図3 (注) 図は『週刊朝日百科 日本歴史9』(朝日新聞社)を元に作図しました

問4 下線②について、7世紀に使われたルートは地図2に示されたAでしたが、8世紀になるとBが使われるようになりました。このルート変更の理由として、最も適切と思われるものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. この時代は7月から9月には台風の心配もなく、安全に航海できたから。
- イ. 造船技術が進歩し、確実に行き来できるようになったから。
- ウ. 朝鮮との関係が悪くなったから。
- エ. Bルートで到着した港のほうが、唐の都長安に近かったから。

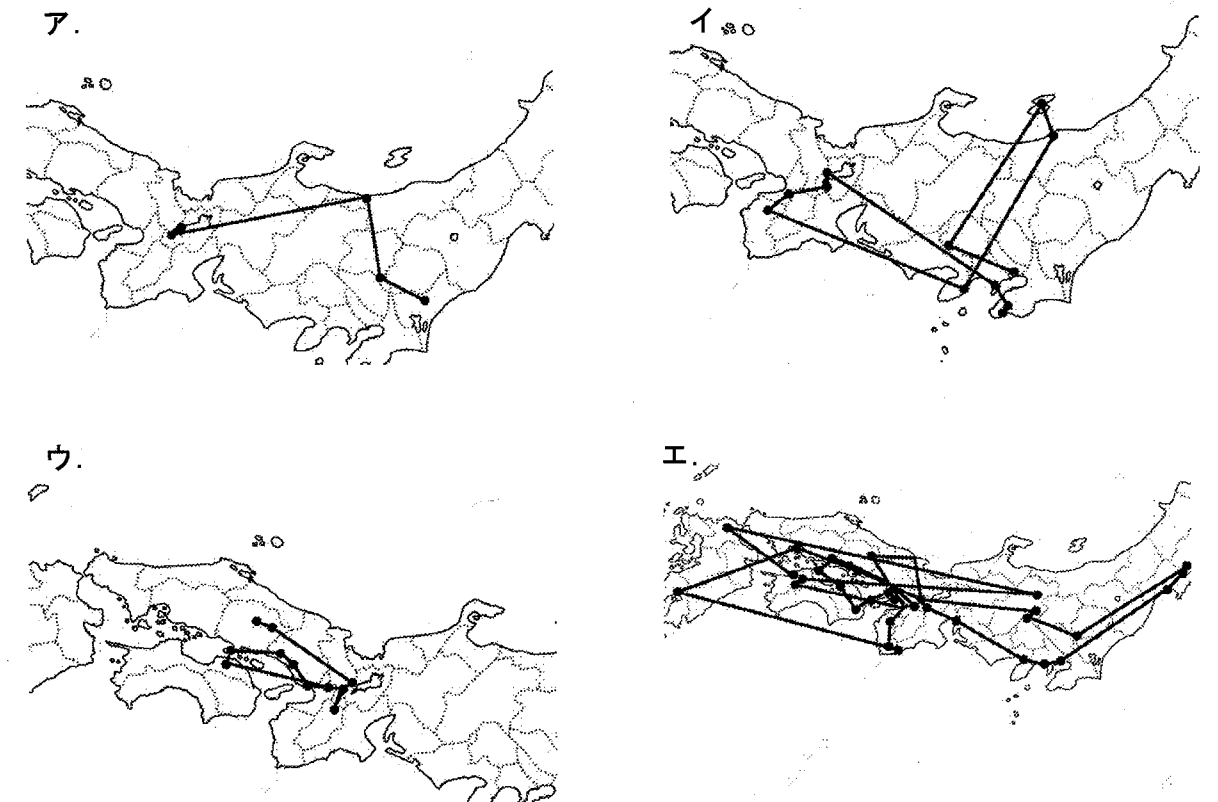
問5 下線③について、地図3から分かるように元寇は現在の日本から東南アジアの広い地域におよんでいます。それらへの侵攻はほとんど失敗しています。失敗している戦いの共通点を、かんたんに述べなさい。

問6 下線④について、南北朝時代と戦国時代に活躍した人物として正しいものを次の中から2人ずつ選び、記号で答えなさい。

- ア. 後醍醐天皇
- イ. 武田信玄
- ウ. 後鳥羽上皇
- エ. 源実朝
- オ. 今川義元
- カ. 足利尊氏

問7 文章中の親鸞、日蓮、一遍に関する部分をよく読み、以下の問いに答えなさい。

(1) 彼らの布教の跡は、下の地図のどれにあてはまりますか。それぞれ記号で答えなさい。



(注) 選択肢の図は『週刊朝日百科 日本歴史7』(朝日新聞社)を元に作図しました

(2) この3人のうち、元寇を予測し、人々に時代の危機を説いて幕府の怒りを買ったのは誰ですか。

3. 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

私たちの学校では、夏休みの校外活動のひとつに、^{ひろしま}広島での平和学習というプログラムがあります。みなさんもお存知のように、1945年に広島と^{ながさき}長崎に原爆が投下され、多くの人命が奪われ、生き延びた被爆者も長い間後遺症に苦しんでいます。私たちは、広島で平和記念公園を訪れたり、被爆者の方々からお話を伺ったり、実際に原爆投下のあとにふれることで平和について考えていこうとしています。

2010年の夏は、原爆投下から65年目の夏となり、^{パンギムン}広島の平和記念式典には潘基文国連事務総長やアメリカのジョン=ルース駐日大使をはじめ、核保有国であるイギリスやフランスの代表が、初めて参列したことで話題をよびました。潘基文事務総長は長崎も訪れ、演説の中で「核兵器のない世界を目指してともに歩いていきましょう」と語りました。核保有国は、アメリカ、イギリス、フランス、ロシア、中国だけではなく、インドやパキスタンは①核実験を行っていますし、^{きたちようせん}北朝鮮やイランの②核開発もニュースとなっています。そういった状況の中で、広島や長崎の呼びかけが、「核兵器のない世界」を目指そうと語る潘基文事務総長に届いたのかもしれませんが。

現在の日本は、^{かくはいぜつ}核廃絶のリーダーシップをとるにはまだまだのようです。日本は、「非核三原則」をうちたてていたにもかかわらず、③沖縄返還時までに核持ち込みに関する密約が結ばれていたのです。④日米間の核密約が裏付けられたことから、「非核三原則」が守られていないとの声もあがっています。

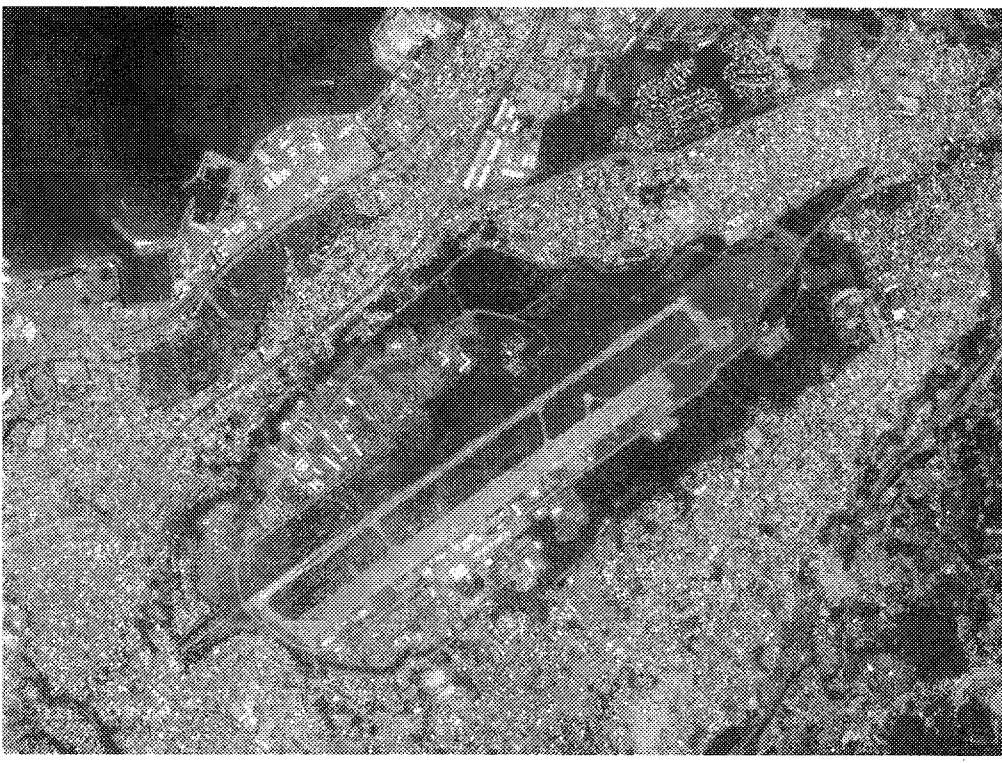
核兵器の廃絶がすすめられるべきです。「核の番人」ともたとえられる⑤国際原子力機関の事務局長は2009年12月から日本人の^{あまのゆきや}天野之弥氏が就任しています。長崎や広島だけでなく、国際機関で活躍する日本人の姿もあります。日本も、核の平和利用にもっと積極的に取り組んでいく必要があるでしょう。

問1 下線①について、1954年にアメリカが太平洋の^{かんしやう}ビキニ環礁で行った^{すいばく}水爆実験により、「死の灰」を浴びた日本の漁船の名前を答えなさい。

問2 下線②について、核開発競争が激化する背景には1989年以前の、ソ連とアメリカの対立がありました。これを何とよびますか。

問3 下線③について、沖縄の基地問題に関する以下の問いに答えなさい。

- (1) 普天間基地から政府が県内で移設しようとしている場所を答えなさい。
- (2) なぜ、移設を求めているのか、次の普天間基地の写真の中から読み取れることを答えなさい。



(注) 写真は「google」の航空写真からとりました

問4 下線④について、沖縄返還時にも取り上げられた核密約は、「非核三原則」に対してどのような点で問題があるのか答えなさい。

問5 下線⑤について、国際原子力機関の^{りやくしやう}略称として正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. ILO イ. WTO ウ. UNCTAD エ. IAEA

問6 原子力発電に関して、次の中から誤っているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 2007年の新潟県中越沖地震で柏崎・刈羽発電所が被害を受けました。
- イ. 原子力発電所の多くは海沿いにあります。
- ウ. 発電する際は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素は排出しません。
- エ. 国内では原子力発電に次いで火力発電が発電量の多くを占めています。

問7 沖縄返還を達成し、1974年にノーベル平和賞を受賞した人物を次の中から1人選び、記号で答えなさい。

- ア. 吉田茂 イ. 佐藤栄作 ウ. 岸信介 エ. 安倍晋三

問題は以上で終わりです